

公の施設目標管理シート（直営）

問合せ先 0250-24-5700

年度	平成28年度		
施設名	新潟市新津鉄道資料館	所管部・課	文化スポーツ部歴史文化課
施設の設置目的	鉄道に関する資料を保存し、及び公開することにより、新潟市と鉄道との関わりについての市民の認識を深めるとともに、市民文化の向上に資することを目的にする。		

当初予算(千円)		当初人員(人)		作成日	H28.5.30
歳入	7,249	正職員	3	修正日	
歳出	32,802	非常勤	4	評価日	

No.	視点	目標	評価指標					参考・補足	主な事業等	目標達成状況 未達成理由	評価
			項目	H25実績	H26実績	H27実績	H28目標				
1	市民	基準利用者数の達成	年間入館者数5万人 (単位:人)	15,431	46,937	49,616	50,000		企画展の開催 新津鉄道資料館サンクスフェア 実施	企画展「日本海縦貫線一本州 日本海側を結ぶ鉄道路線の今 昔」 姉妹都市愛媛県西条市との交 流	
2	市民	企画展、催し物の充実	月2件以上	—	19	32	32		事業の継続と魅力ある新規事 業の検討・実施 毎月第四日曜日に実車客室・ 運転席の公開	鉄道模型走行会 写真展示会 鉄道七夕まつり 親子鉄道模型工作教室	
3	業務 財務	新津商店街協同組合連合 会など他団体・他施設との協 働	鉄道関連グッズの売上 増、サンクスフェアでの協 働ほか(単位:円)	—	2,649,951	4,015,572	4,100,000		受託販売額(品)の増加	出店者との協議・検討会開催	
4	人材	情報共有と人材育成	定例的な臨時職員との 打合せ会議開催、コン プライアンス研修、情報 セキュリティ研修など年4 回以上実施	3	3	4	4		勤務時間の違う各職員の情報 共有とスキルアップのために実施	コンプライアンス研修 情報セキュリティ研修 など	

取り組みについて(目標設定の考え方など)	総合評価 (評価を踏まえた課題分析・方向性など)
市の直営施設としての役割の再認識と課題の検討協議。リニューアルオープン後3年目、順調に入館者も増えているが、資料館の目的の一つである収集資料の整理と展示の方針作成と作業にも取り掛かることとする。また、資料館の中期目標・方針を策定する。姉妹都市である愛媛県西条市、その他鉄道関係施設との交流を通じて新津鉄道資料館の周知を図り、他都市からの来館者の拡大と地域の活性化を図る。	